

環境部会

親子で集まれ

ケナフ紙すき塾パート

生8-環 佐藤 昭三

(財)長寿社会開発センターの助成で「地球温暖化防止とケナフ」をテーマに「ケナフで年賀状をつくろう」のイベントを“わ”本部主催、環境部会ケナフの会協力で、平成15年11月29日(土)、しあわせの村内野外活動センター「あおぞら」で行った。

参加人員

当日は、30年来の季節はずれの台風の影響を受けて、朝から風雨が強く心配したが、36家族102名の申込みに対し、30家族80名の参加があり、「あおぞら」の2室を使い、クラフト室では紙すきを、ミーティング室では紙芝居、紙すきしたケナフはがきにお絵描きしての年賀はがき作り、作品の発表などを行った。

主催側は中島実行委員長、赤司代表、“わ”本部スタッフ、環境部会ケナフの会、在校生ケナフの会のメンバー計約35名が出席し、諸々の準備、指導をした。

実施状況

当日は「アースパル神戸」も本イベントに参加され、次の順序でイベントを行った。

(1) 神戸市環境局の中村係長より、アースパル神戸の概要と地球温暖化に対する神戸市の取組み等の説明があった。子供たちには少し難しかったが、お母さん、お父さんには大変参考になるお話であった。

(2) 紙芝居

ケナフ紙すきに当り、まず「地球温暖化はどうして起るのか、起きるとどうなるのか、温暖化防止のため身近にできることなど」および「ケナフとはどんな植物か、何に使えるか、地球温暖化防止にケナフはどんな働きをするのか」を子供たちに分って貰うため、ケナフの会が創作した紙芝居を約20分行った。午後に行ったふりかえりシートやふりかえって見ようの発表で多くの子供たちより、「地球温暖化、ケナフについ



て関心が持てた」「ケナフを作って見たい」「電気、水を節約したい」等の感想が述べられ、我々が期待した以上の成果があった。

(3) ケナフによるはがき紙すき
準備したケナフパルプを用いて、子供1人当りはがき2枚ずつの紙すきを行った。会場には6テーブルを準備し、各テーブルに5家族、指導員2名の配置で紙すきを行った。最初の1枚を指導員がやり方を説明しながら紙すき見本を示し、後は子供たちが自ら紙すきを行うように指導した。子供たちやお母さん、お父さんも、ほとんどが初めての紙すきで、親子共々熱心に紙すきをして、物作りの喜びを体験したと思う。

うまくできたときの子供たちの笑顔、またそれを見るお母さん、お父さんの安堵感、我々指導員にとっても大きな喜びとほっとした気持ちを与えてくれた。

午前中は紙すきで終り、コープより借用した簡易ヤキイモ機を使って朝から焼いたヤキイモを昼休みのおやつとして、子供たちに1ケづつ配布した。

(4) 年賀はがきの作成

午後からはまず午前中に作ったケナフはがきに12色ボールペンを使って、子供達がお絵描きをし、年賀はがきを作った。新年のえとの申を描く者、ケナフを描く者、地球温暖化を描く者、家族の顔を描く者等々それぞれが思い思いの絵を描き、全

員が年賀はがきを作りあげた。子供達にとって思い出に残る年賀はがきが出来たと思う。

(5) 作品発表とふりかえって見よう
中島実行委員長の司会で作った年賀はがきの作品発表と1日をふりかえっての感想が子供達、親から活発に述べられた。

親子共々紙すきは大変楽しかった。子供にとって記念になる年賀はがき作りができた。

地球温暖化とケナフについて、紙芝居により色々なことを知ることができ、大変役に立った。

家に帰ったら、電気や水を節約したい。来年はケナフを植えて見たい等の感想があった。

所感

ケナフは1年草で成長時、針葉樹の数倍の二酸化炭素を吸収し、また、刈取り後は良質なパルプが得られ、森林破壊も防止でき、地球温暖化防止に役立つ植物である。

今回のイベントは「地球温暖化とケナフ」をテーマに親子でケナフ紙すきを楽しんで貰うと同時に地球温暖化の大切さを知って貰うことをねらいに行い、親子共々紙すきの楽しさを体験し、また地球温暖化とケナフを理解して頂いたと思う。我々にとっても3世代の楽しい交流ができた、意義ある1日であった。

イベントにご協力頂いた“わ”本部、環境部会ケナフの会の皆様へ感謝申し上げます。